

1 町道の維持管理を問う

面積の小さい本町といえども町道の総延長距離は約70キロメートルもある。

年数を重ね、長年使っていると、中には路面の痛みが進んで再舗装の必要な箇所がでてくる。また、路肩の白線、停止線、横断歩道、「徐行」等の文字や標示が車両の通行でこすれ、かすれて見えづらくなっている箇所がある。ひどい所は消えて見えない箇所がある。これらについても路面の再表示が必要である。

また、雨の降った後、雨水が溜まることにより、くぼみやへこみの確認ができ、その路面下部に空洞ができているのはと心配される箇所もある。

このようなことから、総合計画の見直し時期に際し、町道の維持管理計画の進捗状況を確認するとともに、点検やメンテナンス状況を受けて必要があれば新たに総合計画に盛り込む箇所が考えられる。そこで、次の項目について問う。

- 1 総合計画に盛り込まれている拡幅や舗装計画の進捗状況は。
- 2 町道の定期的な点検結果（路面状況、路面標示状況、道路内部の空洞箇所）は。
- 3 1と2を受けて、総合計画に継続または新たに盛り込む必要のある町道は。